

<児童生徒指導部会>

【児童生徒の実態】
・多くの児童生徒が元気に生活できている。
・基本的な生活習慣の身に付いている児童生徒が多いが、特に配慮を要する児童生徒も在籍している。
【部会のねらい】
・異校種、異年齢の相手との交流を通して、お互いに対する理解を深めるとともに、小中で連携し、時と場に応じたあいさつや言葉遣いをきちんと行えるようにする。（話の聞き方や伝え方など、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を目指す。）
・SNSの利用の仕方について小中で継続した指導ができるようにする。

	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
視点				

取組	・小中交流会の実施（あいさつ運動、6年生による質問コーナー） ・SNS使用の実態把握と決まりの改善。小中で継続した決まりの作成、配布、指導 ・時と場に応じた言葉遣いの指導
成果	【あいさつ運動】 ・中学生は年齢が上の立場になり、小学生の見本になろうと元気に取り組むことができた。小学生もあいさつの意識が高まり、一生懸命取り組むことができた。 【質問コーナー】 ・事前に小学生の質問を頂けたお陰で、その場できちんと答えることができ、小中学生がふれ合うよい時間となった。小学生にとって中学校の生の声を聞くことができ、イメージしやすくなった。 【SNSの決まり】 ・使用に関する決まりを作成し、掲示や配布をすることで啓発活動として有効に活用することができた。
課題	【あいさつ運動】 ・保護者や地域を巻き込んで国中学区明るいあいさつ運動ができるとよい。中学生のあいさつに圧倒されて怖がる児童もいたので、立ち位置やボリュームを考え爽やかなあいさつができるように、事前指導の徹底をする必要がある。 【SNSの決まり】 ・啓発し続けることが重要であるので、作成したことが完成ではなく発信の仕方を検討していきたい。

あいさつ運動



質問コーナー



国分寺中学校区

SNS(LINE、X、Instagram、TikTok、YouTube等)やインターネットを使う時の約束

- 1 SNSやオンラインゲーム、メール、動画へのコメントは、悪口や人の嫌がる言葉を書きません。
- 2 情報の発信には責任をもちます。個人情報や写真を許可なく掲載しません。
- 3 スマートフォンやオンラインゲーム、インターネット、動画視聴は、保護者と決まりを必ず話し合い、時間を決めて使用します。また、自分の部屋で夜遅くまで使用しません。